

第9回 市民のプラットフォーム

聞^きこう、話^{はな}そう、 学校^{がっこう}の悩み^{なや}

2月 2日(日)

14:00~16:00 ごろ

あきる野ルピア

3階 産業情報室 (参加費:無料)



子どもたちにとって、学校は、友だちや先生と楽しく遊び、学ぶところ。でも、いじめや不登校といった問題もなくなっていません。また、先生たちにとって、学校は、子どもたちが成長するのを実感できる、やりがいのある職場。でも、近ごろは、長時間労働やパワハラ、教員間のいじめまで報道されています。

学校は、今、どうなっているのでしょうか。

前回の「プラットフォーム」では、学校について、さまざまな体験が話され、参加者からは、貴重な情報がもらえた、いろいろ気づかされた、という感想がたくさんありました。その一方で、もっと話したかった、聞きたかったという声も多かったので、今回も「学校」をテーマにしました。

みんなで、学校についての悩みや思いを聞き、話し、情報を共有しながらつながって、学校を、少しでも居心地の良いところにできれば...と思います。

どうぞ、お気軽に、ご参加ください。

主催:くさしぎ・草の根市議と
市政を考える会

連絡先:042-596-4569
(佐橋)
サバシ

e-mail:kusasigi@nifty.com



子どもの体力ガクン

小中学生全国調査

小5男子過去最低

昨年調査より、小5男子と中学二年

運動時間

日本「読解力」が15位

前回8位 数学、科学11位

満点の平均は、小5男子が五三・六一

小学教員倍率最低 2.8

昨年度 大量採用、民間需要

1011年々の大学入学
共通テスト導入に合わせ
定の英語民間試験について
文科省「説明不足」
「民間委託」
「公立小学校の教員採用試験」
「都道府県教育委員会など」
「と広島県・広島市」
「れ一つと数え、」
「教員働き方」
「改正を」
「文科省へ署名と要望書」

「市民のプラットフォーム」って何？

日々の暮らしの中で、困りごとがぶつかったとき、情報を集めたり、同じ悩みを抱える人と出会ったりすることで、解決の糸口が見えてくる場合があります。

また、暮らしの中で、「なんで？」「このままでいいの？」と感じたとき、その小さな「？」をそのままにせず、調べ、考え、声を出すことで、「市民参加の政治」が始まります。

そのために、人と人とが情報を交換し、語り合い、つながっていく場。それが「市民のプラットフォーム」です。

「くさしぎ」の紹介

「くさしぎ」は鳥の名前ですが、「草の根市議」という意味も含め、会の名前としました。

2011年の福島原発事故以後、多くの気づきがありました。その中に「今まで私たち市民は、あまりにも政治家に政治をお任せし過ぎたのではないか」という苦い反省もありました。

「くさしぎ」は、この反省に立ち、もっと身近な市政に、私たちの代表の「草の根市議」を誕生させ、その市議とともに、一般の市民が主体的に市政に関わっていく、と呼びかける、あきる野市民の会です。関心を持たれた方は、ぜひご連絡ください。